

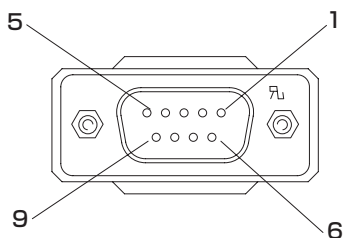
RS-232Cケーブル

RS-232Cインタフェース

EIA (米国電子工業会) が策定したシリアル通信の標準規格で、正式名称はTIA/EIA-232-Eですが、通称でRS-232Cと呼ばれます。インタフェースコネクタには9ピンまたは25ピンのD-subコネクタを使用することが一般的であります。一般的には最高通信速度が約20Kbps、最大通信距離は15mです。使用するメーカーによって規格を拡張して利用することがあり、各メーカー独自の結線で通信することもあります。一般的にはパソコンなどのデータ端末装置 (DTE装置) とモデムなどのRS-232C周辺機器 (DCE装置) との接続には「ストレート結線」のケーブルを使用し、パソコン (DTE装置) どうしを接続する際には「クロス結線」のケーブルを使用します。

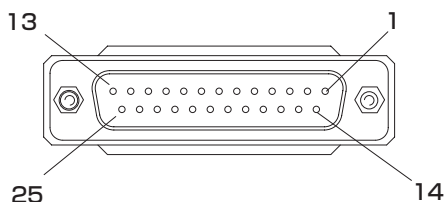
ピンアサイン

9pin



D-sub 9pin

25pin



D-sub 25pin

【D-sub 9ピン】

ピン番号	信号名	機能名
1	DCD	キャリア検出
2	RxD	受信データ
3	TxD	送信データ
4	DTR	端末レディ
5	GND	シグナルグランド
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信許可
9	RI	リング (呼び鈴) インジケータ

【D-sub 25ピン】

ピン番号	信号名	機能名
2	TxD	送信データ
3	RxD	受信データ
4	RTS	送信要求
5	CTS	送信許可
6	DSR	データセットレディ
7	GND	シグナルグランド
8	DCD	キャリア検出
20	DTR	端末レディ
22	RI	リング (呼び鈴) インジケータ